

令和5年度学校評価結果

令和6年3月

本年度の 学校重点目標	健やかな体と豊かな心を育み、主体的に粘り強く学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。 学校と地域のかかわりを大切にし、地域から信頼される生徒を育てる。 教職員の多忙化解消に向け、業務内容の精選を行い、健康的な職場整備に努める。		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	自己評価
生活指導 (生徒指導部) (各学年会)	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の励行</li> <li>身だしなみ指導の充実</li> <li>交通安全意識の高揚</li> <li>適正な部活動指導</li> <li>健康観察の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をすることはできるが、受動的な生徒が多い。</li> <li>概ね良好であるが、一部の生徒で着こなしができていない。</li> <li>ヘルメット着用の呼びかけを行い、交通安全意識を高めた。</li> <li>部活動の活動方針に沿って、部活動指導を行った。</li> <li>毎朝の健康観察を実施できた。</li> </ul>
	いじめの早期発見、適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>意識調査によるいじめの早期発見と適切な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯電話の不適切使用がみられた。生活意識調査の結果により早期の対応ができた。</li> </ul>
学習指導 (教務部) (各学年会) (各学科) (各教科会)	主体的な学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別講座編成に応じた学習指導の充実</li> <li>個々の生徒に応じた学習指導の充実</li> <li>基本的授業習慣の確立</li> <li>探究的な学習への取り組み</li> <li>課題と予習・復習による家庭学習の習慣化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各講座ごとに生徒の実状にあわせた学習指導を行うことができた。</li> <li>教員間で情報交換をし、特に3年生では個々に応じた学習指導ができた。</li> <li>学習記録を利用し、計画的な学習指導を行った。</li> <li>総合的な探究の時間でICTを活用しながら課題に取り組んだ。</li> <li>将来のことを見据えて、課題に取り組みせたり、検定取得に向けて取り組ませることができた。</li> </ul>
進路指導 (進路指導部) (各学年会)	進路意識の高揚と学ぶ意欲の喚起	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路相談の充実</li> <li>キャリア教育の実践</li> <li>模試結果等の活用</li> <li>情報収集・情報発信の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各担任の面談による指導を頻繁に行った。</li> <li>各種講演会などを通して、自分の将来を考える機会を与えた。</li> <li>模試の結果報告を行い、学習指導に役立てた。</li> <li>新カリキュラムに対する入試情報をキャッチし、対策を考えていく。</li> </ul>
その他	国際交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>姉妹校との交流の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙の交換を行った。次年度以降のことについて連絡を密に行った。</li> </ul>
	多忙化の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>長時間労働の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度より時間外勤務の改善はできたが、個人による偏りがあった。仕事内容の精選をさらに進める必要がある。</li> </ul>
今後の改善方策について	<p>生活指導については身だしなみは概ね良好であった。教職員全体で生徒の行動を注視し、いじめ等への対応を行った。良好な人間関係を構築するために引き続き多くの職員で生徒を指導していく。また、支援が必要な生徒には情報を共有し、教員がチームで連携し対応することが必要である。</p> <p>学習指導については、教科と学年で連携し、問題解決能力や表現力、コミュニケーション力などを高められるように指導していく。情報を共有し、適切な課題等で学習習慣を身に付けさせ、長期的な視点で学習に取り組めるようにする。</p> <p>進路指導については、各種講演会を充実させ、進路意識を高める機会をつくる。生徒の学力差の拡大や多様化への対応を検討する。</p> <p>概ね学校行事は行うことができた。ホームページの更新もスムーズにできるようになってきた。更なる学校の魅力発信を増加させる。</p>		